

里庄町立 図書館ニュース



「太宰府天満宮」 里庄中学校3年 水田 善

第355号
令和4年12月

お知らせ

館内利用について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の趣旨をご理解いただき、次の点にご協力ください。

- ・マスクを着用する。
- ・せきや発熱等の症状のある方は、利用を控える。
- ・入館時、自動体温測定器で体温測定をする。
- ・長時間の滞在は控える。(原則1時間以内)
- ・入館・退館の際には、手を消毒する。
- ・ソーシャルディスタンスを確保する。

「ふくちゃん 読書手帳」のご利用を



読んだ本を記録するための読書手帳です。読書手帳をつければ、「この本読んだっけ?」「読んだ本だった!」「読んだ本が思い出せない!」などの悩みがなくなり便利です。読書手帳は、図書館カウンターにあります。どうぞご利用ください。

なお、50冊、100冊読んだ方には、図書館オリジナルグッズをさしあげます。さらに、200冊、300冊とどんどん読んでください。100冊追加ごとにプレゼントが待っています。

お願い

図書館の本は町民みんなの財産です。

- ・大切に扱いましょう。
- ・返却期限を守りましょう。
- ・無断で持ち出さないようにしましょう。

☆万一、壊れたり、破れたりしたときは、自分で直さないで、返却時に職員にお知らせください。

開いてみよう！図書館ホームページ

里庄町立図書館のホームページに蔵書検索機能があるのはご存じですか？自宅にいながら、本やCDが検索でき、さらに現在貸出中かどうかも分かるようになっています。

他に、図書館行事や展示の予定、貸出ランキング、新聞・雑誌一覧、おすすめ本リストなども載せています。ぜひご利用ください。

行事予定・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定を変更・中止する場合があります。

◎ 12月 特設展示 (クリスマス&正月準備展)

- 1日 (木)
2日 (金) エルマーの工房 13:30～
3日 (土) おはなしトトロ 14:00～ 第19回子どもたちの絵画展 ～4日
4日 (日)
5日 (月)
6日 (火) **休館日**
7日 (水) そよかぜ作品展 ～25日
8日 (木)
9日 (金) エルマーの工房 13:30～
10日 (土) おたのしみ会「クリスマス・パーティー」 14:00～
11日 (日) ちぎり絵教室「紙遊会」9:00～ 組み木の広場「木楽工房」10:00～
12日 (月)
13日 (火) **休館日**
14日 (水)
15日 (木) 古文書勉強会 13:00～
16日 (金) エルマーの工房 13:30～
17日 (土) 清明を読む会 13:30～ 清明研 14:45～
おはなしトトロ 14:00～
18日 (日) **休館日**
19日 (月)
20日 (火) **休館日**
21日 (水)
22日 (木)
23日 (金) エルマーの工房 13:30～
24日 (土) おはなしトトロ 14:00～
25日 (日)
26日 (月)
27日 (火) **休館日**
28日 (水) **月末整理休館日**
29日 (木) **年末休館日**
30日 (金) **"**
31日 (土) **"**

◎ 1月 特設展示 (干支の本展)

- 1日 (日) 元日 **年始休館日**
2日 (月) **"**
3日 (火) **"**
4日 (水)
5日 (木)
6日 (金) エルマーの工房 13:30～
7日 (土) おはなしトトロ 14:00～
8日 (日) ちぎり絵教室「紙遊会」9:00～ 組み木の広場「木楽工房」10:00～
9日 (月) 成人の日
10日 (火) **休館日**
11日 (水)
12日 (木)
13日 (金) エルマーの工房 13:30～

14日	(土)	おはなしトトロ	14:00～
15日	(日)	休館日	
16日	(月)		
17日	(火)	休館日	
18日	(水)		
19日	(木)	古文書勉強会	13:00～
20日	(金)	エルマーの工房	13:30～ 年賀状傑作展 ～27日
21日	(土)	清明研究会	13:30～おはなしトトロ 14:00～
22日	(日)		
23日	(月)		
24日	(火)	休館日	
25日	(水)		
26日	(木)		
27日	(金)	エルマーの工房	13:30～
28日	(土)	おはなしトトロ	14:00～
29日	(日)		
30日	(月)	月末整理休館日	
31日	(火)	休館日	

展示・催し案内・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定を変更・中止する場合があります。

◎特設コーナー 12月

場所 カウンター前の特設架
内容 クリスマス&正月準備展

◎特設コーナー 1月

場所 カウンター前の特設架
内容 干支の本展

◎第19回子どもたちの絵画展

日時 12月3日(土) 13:30～4日(日) 15:00

場所 2階 展示室

内容 笠岡・里庄・浅口の保・幼・子ども園児の絵画展
テーマ「おおきくなったら なりたいなあ」

主催 国際ソロプチミスト笠岡

◎そよかぜ作品展

日時 12月7日(水)～25日(日) 10:00～18:00

場所 2階 展示室

◎おたのしみ会「クリスマス・パーティー」

日時 12月10日(土) 14:00～15:00

場所 2階 視聴覚室

対象・定員 幼児～一般・20名(要予約)

◎第4回 清明を読む会

日時 12月17日(土) 13:30～14:30

場所 2階 視聴覚室

内容 「昭和28年の天覧標本～淡水海綿を中心に～」

講師 岡本 泰典氏(佐藤清明資料保存会 顧問)

定員 30名(要予約) ※参加ご希望の方は図書館までお問い合わせください。

◎年賀状傑作展

日時 1月20日(金)～27日(金)

場所 2階 展示室

図書館ボランティア どなたでも参加できます。お手伝い下さい。

◎おはなしボランティア「おはなしトトロ」

- ・日時 毎週 土曜日 14:00～
- ・内容 読み聞かせ・パネルシアター・エプロンシアター・ストーリーテリング
・手遊びなどの練習、おはなし会やおはなし宅配便への参加・実演。

◎手づくりボランティア「エルマーの工房」

- ・日時 毎週 金曜日（祝日を除く）13:30～
- ・内容 おはなしのキャラクターやパネルシアター・エプロンシアターの作製。

趣味の会・学習会 新入会員募集中です。

◎組木の広場「木楽工房」

- ・日時 毎月第2日曜日 10:00～16:00
- ・内容 組木作製 *材料費実費負担

◎ちぎり絵教室「紙遊会」

- ・日時 毎月第2日曜日 9:00～16:00
- ・内容 ちぎり絵作製 *材料費実費負担

◎清明研究会

- 日時 毎月第3土曜日 13:30～ 2時間程度
- 会場 里庄町立図書館 2階視聴覚室
- 内容 佐藤清明についての研究、資料の整理など

新着本の案内 10月に購入した図書の一部です。

大人の本

◎ 日本の小説

▽イオカステの揺籃 (遠田 潤子：中央公論新社)

英樹はバラが咲き乱れる家で育った。美しい母、仕事人間の父、自由に生きる妹。ごく普通の家族のはずだったが、妻が妊娠し、生まれてくる子が男の子だとわかった途端、母が壊れはじめ…。『読売新聞オンライン』掲載を書籍化。

▽オリンピックを殺す日 (堂場 瞬一：文藝春秋)

コロナ禍、強引に開催された東京五輪の最中、大学教授が謎の言葉を残して日本を去った。数年後、トップ選手を集めた新たな国際大会の計画が浮上。果たして黒幕は誰なのか…。「五輪の意味を問う」書き下ろしサスペンス長編。

▽介護者D (河崎 秋子：朝日新聞出版)

30歳、契約社員、未婚の琴美は、何となく住んでいる東京から、父の介護のため、札幌へ戻ることを決めた。まだ何者にもなれていない琴美の唯一の救いは「推し」の存在で…。『小説トリッパー』連載を加筆し書籍化。

▽キッズ・アー・オールライト (丸山 正樹：朝日新聞出版)

ストリートに生きる日系ブラジル人の少年。介護に追い詰められるヤングケアラーの少女。不器用な、「見えない存在」である彼らを、今日も見守る大人たちがいる…。『小説トリッパー』連載を書籍化。

▽素数とバレーボール (平岡 陽明：講談社)

41歳の誕生日、高校時代のバレーボール部の仲間「ガンブ君」から届いた謎のメール。それは、他の部員たちの誕生日にも届いていた。メールの内容の真偽もガンブ君の消息も不明のまま、元男子高生たちは再会を果たすが…。

▽掌に眠る舞台 (小川 洋子：集英社)

「レ・ミゼラブル」全公演に通う私は、劇場に住む「失敗係」の彼女と出会い…。ステージの此方と彼方で生まれる特別な関係を描く、美しく恐ろしい極上の短編集。全8編を収録。『すばる』掲載を書籍化。

▽人間みたいに生きている (佐原 ひかり：朝日新聞出版)

食べることにそのものに嫌悪を覚えている女子高生・唯。彼女がはじめて居場所を見つけたのは、食べものの臭いが一切しない「吸血鬼の館」で…。孤独に苦しんできた少女の成長を描く青春小説。『小説トリッパー』掲載を書籍化。

▽若葉荘の暮らし (畑野 智美：小学館)

収入が激減したミチルは、40歳以上独身女性限定のシェアハウスに転居する。訳ありな女性達が迷いながらもたくましく生きる様を見て、ミチルは自分で自分の幸せを叶える術を身につけ…。『WEB きらら』連載を書籍化。

▽たとえば、葡萄 (大島 真寿美：小学館)

まったく先の見えない状態で会社を辞めた28歳の美月は、母の親友・市子(56歳)の家に転がり込む。個性の強い大人に囲まれ、一緒に過ごすうち、美月は徐々に上を向き…。「今」と「これから」の物語。

▽奇跡を蒔くひと (五十嵐 貴久：光文社)

赤字を理由に潰れる寸前の市民病院。勤務医が続々と辞めていく中、院長に名乗り出た34歳の青年医師、速水隆太は「すべての患者を断らない」という方針の下、病院再建に奔走し…。『ジャーロ』連載に加筆修正し単行本化。

▽付き添うひと (岩井 圭也：ポプラ社)

少年犯罪において弁護人の役割を担う付添人の仕事に就いたオボロ。彼に舞い込む依頼の先では、子ども達が心の叫びを胸に押し込め生き延びていた。オボロは彼らの心の闇に寄り添い…。『ウェブアスタ』連載に加筆修正し書籍化。

▽夏日狂想 (窪 美澄：新潮社)

私は男たちの夢より、自分の夢を叶えたかった。書くという夢を。さまざまな文学者との恋の果てに、礼子が掴んだものは？ 激動の現代史を背景に、懸命に生き抜いた「書く女」の生涯を描く。『小説新潮』連載を書籍化。

▽はぐれんぼう (青山 七恵：講談社)

クリーニング店で働く優子は、持ち主が長く引き取りに来ない衣服「はぐれんぼちゃん」たちを自宅に持ち帰る。すると翌朝、それらが体全体を覆っていて…。不可思議で切なく瑞々しい救済と癒しの物語。『群像』連載を単行本化。

▽永遠年輕 (温 又柔：講談社)

林由起子には、林美怜と林圭一という同じ苗字を持つ友人がいた。やがて圭一と美怜が付き合うようになり、3人の関係に変化が…。「国籍」と「国語」のはざままで生きる「私たち」を描いた3編の物語。『群像』掲載等を単行本化。

▽ほくらは、まだ少し期待している (木地 雅映子：中央公論新社)

高校3年生の土橋輝明は、同学年の秦野あさひと「優等生」同士の腐れ縁。ある日、あさひに相談を持ちかけられた輝明は、予想外の内容に驚き、席を立ってしまう。翌日、彼女が失踪したことを知った輝明は、その行方を追って…。

▽水底のスピカ (乾 ルカ：中央公論新社)

北海道の高校に東京から転校生・美令がやってきた。完璧な彼女は些細なことからクラスで浮いた存在になる。クラスで孤高を演じる和奈。クラスカースト上位の更紗。それぞれ秘密を抱える3人が向かう先に待つものは…。

▽小説家の一日 (井上 荒野：文藝春秋)

小説、メモ、日記、レシピ、SNS…。すべての「書くこと」をテーマに、さまざまな日常の忘れられない瞬間を描いた短篇集。表題作のほか、「窓」「つまらない湖」など全10篇を収録する。『オール読物』掲載を書籍化。

▽潜熱 (乙川 優三郎：徳間書店)

昭和生まれの男が迎える平成、令和までの魂の変遷。コピーライター、作詞家として大成しながら、挑戦した世界は。書くことへの飽くなき飢えを貫いたひとりの男を描いた長編小説。『読楽』掲載に加筆修正し単行本化。

▽赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う。 (青柳 碧人：双葉社)

7人の小人と暮らす白雪姫。鏡が映し出すものとは？ 子豚が建てた3つの家。その中で起きたこととは？ 赤ずきんが推理の旅に出る、童話×ミステリの連作短編第2弾。『小説推理』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

▽幾千年の声を聞く (青羽 悠：中央公論新社)

世界の中心に聳える巨大な「木」。人々は枝の上に家を建て、各地から人が集まり、やがて国ができ、文明が生まれた。だが、他国から「木」のもとを訪れた学者は、それが本来地球には存在しえないものと気がつき…。

▽過怠 (谷村 志穂：光文社)

日本と韓国のふたつの家族。子を欲しいと願い、切なる思いで飛びついた最先端医療。幸せをもたらすはずの医療が生んだ「かけ違え」。2人の女子学生の人生が、未来が、翻弄される。『本がすき。』連載を加筆修正、改稿。

▽川のほとりに立つ者は (寺地 はるな：双葉社)

2020年の夏。カフェの店長を務める29歳の清瀬は、恋人の松木とすれ違いが続いていた。原因は彼の「隠し事」のせいだ。そんなある日、松木が怪我をして意識を失い、病院に運ばれ…。『小説推理』連載を改題、加筆修正。

▽機械仕掛けの太陽 (知念 実希人：文藝春秋)

2020年、世界は一変した。大学病院の勤務医、女性看護師、町医者…。未知のウイルスと最前線で戦う医療従事者たちが直面する、混乱、絶望、そして希望を描く感動の物語。

▽太陽諸島 (多和田 葉子：講談社)

消えた故郷の島国を探して、仲間たちと船の旅に出た Hiruko。沿岸の港町で謎めいた人物が乗り込んできて…。言葉で結びついた仲間たちの時空を超えた出会いと冒険を描く。連作長篇3部作、完結。『群像』連載を単行本化。

▽小さき王たち 第3部 激流 (堂場 瞬一：早川書房)

いまだかつてないパンデミックの災禍に喘ぐ2021年の日本。マスコミ支配を進める政治家・田岡に抵抗し続ける東日本新聞記者・高樹は、最後の戦いを仕掛ける。50年続く二家の因縁がついに決着!

▽春いちばん 賀川豊彦の妻ハルのはるかな旅路 (玉岡 かおる：家の光協会)

印刷所の女工として働く23歳のハルは、キリスト教を伝道する青年・賀川豊彦に出会い、信仰の道へ。のちに生涯の伴侶となる彼と、神戸のスラム街で幾多の苦難に直面しながらも貧しい人を支え続け…。『家の光』連載を書籍化。

▽乱れる海よ (小手鞠 るい：平凡社)

50年前に起こった世界初の空港テロ事件。起こしたのは3人の日本の若者たちだった。それは崇高な使命からだったのか、それとも…。正義と使命感に駆られた人間の「光と影」をリアルに描く。『こころ』掲載などを加筆修正。

◎ 歴史・時代小説

▽愚者の階梯 (松井 今朝子：集英社)

「勸進帳」は不敬である。昭和10年、国粹主義者の猛抗議をきっかけに、歌舞伎の殿堂で連続怪死事件が発生。江戸歌舞伎狂言作者の末裔、桜木治郎が大いなる謎に挑む。『小説すばる』連載を加筆し単行本化。

▽ええじゃないか (谷津 矢車：中央公論新社)

幕末に起こった史上最大の乱痴気騒ぎ「ええじゃないか」。三河国に降った数枚の御札が、やくざ者の晋八、御庭番の市之丞、そしてこの国の運命を変える! Webサイト『BOC』連載を加筆修正、書下ろしを加え単行本化。

▽鬼女 (鳴海 風：早川書房)

会津に生き、会津に死す。文久2(1862)年、二本松から会津に嫁した利代は、我が子を強い会津武士にするため厳しく育てるが…。母と子の通じぬ想いを描く、もう1つの白虎隊物語。

▽かんむり (彩瀬 まる：幻冬舎)

虎治と光は元同級生で、夫婦となり子供を持ち家族になった。時にはぶつかりながらも同じ方向を見て進んでいると思っていたが…。試行錯誤しながら日々を紡いでいく、ある夫婦の物語。

▽れんげ出合茶屋 (泉 ゆたか：双葉社)

咲は新しい奉公先のある上野不忍池を訪れる。畔のあばら家で待っていたのは、幼い頃に母が咲を伴い奉公していた大店の元お嬢様、志摩だった。志摩は男女が人目を忍んで逢瀬を愉しむ“出合茶屋”を開くというが…。

▽我、鉄路を拓かん (梶 よう子：PHP 研究所)

日本初の鉄道敷設を夢見る平野屋弥市が請け負ったのは、なんと芝～品川間の海上を走らせる「築堤」部分の土木工事だった。明治の初め、至難のプロジェクトに挑んだ男たちの熱き物語を描く。『WEB 文蔵』連載を加筆修正。

▽切腹屋 (岩井 三四二：光文社)

江戸時代の裁判「公事」。その当事者に手と知恵を貸す商売・公事師の駆け出しの辰次は、松代藩山手村から江戸に公事に来た村人代表の 3 人に、負けたら切腹してみせると大見得を切り、大金 30 両の仕事を引き受けるが…。

▽しろがねの葉 (千早 茜)

落に隠された真実とは…。『小説すばる』連載を加筆し単行本化。

▽**ペットショップ無惨** (石田 衣良：文藝春秋)

“揺りかごから墓場まで”。ペットのすべてを業務とするビジネス。その裏でマコトが目にしたのは、吐き気がする現実だった。表題作など全4篇を収録。『オール讀物』掲載を単行本化。

▽**マル暴ディーヴァ** (今野 敏：実業之日本社)

弱気なマル暴刑事・甘糟は、コワモテの上司・郡原と、麻薬売買の場と噂されるジャズクラブに潜入する。惚れ惚れするような歌声を披露する歌姫・アイの正体はまさかの!? 『Web ジェイ・ノベル』連載を書籍化。

▽**invert 2 覗き窓の死角** (相沢 沙呼：講談社)

嵐の山荘に潜む若き犯罪者と、翡翠をアリバイ証人に仕立て上げる写真家。翡翠は犯人たちが仕掛けた巧妙なトリックに挑むが…。TV ドラマの原作。『小説現代』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

▽**うさぎの町の殺人** (周木 律：実業之日本社)

娘の大学進学を機に、山間にあるニュータウンに越してきた黒田茂と葵の親子は、平凡な日々を過ごしていた。だが、妙な事件が起き、不穏な空気が流れはじめた時、葵が突然失踪し…。『アップルブックス』配信を加筆修正。

▽**爆弾犯と殺人犯の物語** (久保 りこ：双葉社)

爆弾犯の夫と、殺人犯の妻。秘密を抱えたふたりの、不思議な愛の行方は…。第43回小説推理新人賞を受賞した表題作をはじめ、「僕には印がついている」など、短編5編を収録。『小説推理』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

▽**いけない 2** (道尾 秀介：文藝春秋)

姿を消した姉の SNS 裏アカウントを見つけた桃花は、明神の滝に向かい…。各章の最終ページに挟まれた凶像の意味が解った瞬間、物語の別の顔が見えてくる、体験型ミステリー。『オール讀物』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

▽**クロコダイル・ティアーズ** (雫井 脩介：文藝春秋)

夫を殺した犯人は、かつての妻の恋人だった。この男が裁判で「妻に殺害を依頼された」と証言。美しき未亡人は、悪女なのか、それとも…。家族への疑念を描く、静謐なミステリー。『オール讀物』連載を単行本化。

▽**高島太一を殺したい五人** (石持 浅海：光文社)

高島太一を殺したい。殺人の罪を隠蔽したい。高島太一の罪も隠蔽したい。高島太一の被害者の罪も隠蔽したい…。「殺したい」という目的は同じなのに、誰かが何かを隠していて…。

▽**あなたへの挑戦状** (阿津川 辰海，斜線堂 有紀：講談社)

ミステリランキングを席卷した新世代、阿津川辰海と斜線堂有紀が「あなたへの挑戦状」というテーマで小説を書いて競い合う! 競作過程を描いたネタバレ満載の「執筆日記」も収録。『メフィスト』掲載を書籍化。

▽**あらゆる薔薇のために** (潮谷 駿：講談社)

「オスロ昏睡病」から快復した患者は薔薇の形をした腫瘍ができる。治療法を確立した医師が殺され、元患者が次々に襲われる。かつてその難病に罹った京都府警の八嶋警部補は、犯人の特定と難病治療がもたらした闇に挑む。

▽**首切り島の一夜** (歌野 晶午：講談社)

壮年の男女と元教師が、修学旅行を再現した離島での同窓会を企画。久我陽一郎は、当時自分たちの高校をモデルにミステリを書いていと告白する。その夜、宿泊先で久我の死体が発見される。荒天のため宿にとどまった7人は…。

▽**仕掛島** (東川 篤哉：東京創元社)

岡山の名士が遺した2通の遺言状。1通目の遺言に従い、一族は瀬戸内の孤島に集められた。行方を晦ましていた親族までが招かれ奇妙な空気に包まれるなか、もう1通の遺言状が読み上げられ…。『ミステリーズ』連載を改稿。

▽**シャドウワーク** (佐野 広実：講談社)

暴力夫から命がけで逃れ、江ノ島を望む風変わりなシェルターにたどり着いた紀子。その家には、ある一つの「ルール」があった。ドメスティック・バイオレンスの闇を衝くソーシャル・ミステリー。

▽探偵と家族 (森 晶麿：早川書房)

高円寺にある銀田探偵事務所。所長の母・獅乃、長女・凧咲、長男・瞬矢、探偵を引退した父・龍一は、たまに起こる不可解な事件を通して、家族が失ったものを探していく。新型コロナ以後の探偵と家族の物語。

▽濱地健三郎の呪える事件簿 (有栖川 有栖：KADOKAWA)

探偵・濱地健三郎には鋭い推理力だけでなく、幽霊を視る能力がある。作家志望の美男子を襲った心霊は、古い洋館のどこに巣食っていたのか。濱地と助手のコンビが、驚くべき謎を解き明かしていく! 『怪と幽』掲載を書籍化。

▽リバー (奥田 英朗：集英社)

渡良瀬川の河川敷で相次いで女性の死体が発見される。10年前の未解決連続殺人事件と酷似した手口が、街を凍らせていき…。同一犯か、模倣犯か? 人間の業と情を抉る群像劇×犯罪小説。『小説すばる』連載を単行本化。

▽君のクイズ (小川 哲：朝日新聞出版)

クイズ番組の決勝に出場した三島玲央は、対戦相手が問題が読まれぬうちにボタンを押し正解し、優勝を果たすという不可解な事態を訝しむ。決勝を1問ずつ振り返る三島はやがて…。『小説トリッパー』掲載を加筆修正。

▽世界の望む静謐 (倉知 淳：東京創元社)

大人気漫画家を殺してしまった担当編集者、悪徳芸能プロモーターを手にかけて歌謡界の“元”スター…。罪を犯した者たちの前に、死神めいた風貌の警部が立ちはだかる。『紙魚の手帖』他掲載を単行本化。

▽薔薇色に染まる頃(紅雲町珈琲屋こよみ 10) (吉永 南央：文藝春秋)

1度は売ったものの、手放したことを後悔していた帯留が戻ってきたと、旧知のアンティークショップから連絡をもらったお草。早速その店に向かうが、そこで、顔なじみのバーの雇われ店長が殺されたという話を聞き…。

▽君といた日の続き (辻堂 ゆめ：新潮社)

リモートワークを言い訳に引きこもっていた僕は、雨上がりのある日、ずぶ濡れの女の子を拾った。タイムスリップしてきたらしい彼女は、僕の大切な人の命を奪った事件に関係しているのか…? 『yomyom』掲載を書籍化。

◎ ファンタジー

▽首取物語 (西條 奈加：徳間書店)

少年が出会った首だけの男は、少年と同じく過去の記憶を無くしていた。侍だったということ以外は。ふたりは一緒に、様々な国でお互いの失った記憶を取り戻していくが…。『読楽』連載に加筆修正し単行本化。

▽烏の緑羽(八咫烏シリーズ 2-3) (阿部 智里：文藝春秋)

「なぜ、私の配下になった?」生まれながらに山内を守ることを宿命づけられた皇子。葛藤と成長、彼らのその先には、奈月彦の兄・長束と、長束の近衛・路近の物語。

◎ ホラー・怪談

▽ドラゴンズ・タン (宇佐美 まこと：新潮社)

古の中国で、ある男の野望と怨念から生まれた「竜舌」。古井戸に宿る奇異な生命体は時代を経ながら歴史のはざままで暗躍し、不気味な存在へと変貌して行く。そして、刻は満ち…。“愛と禍”の因果を描く、ホラーサスペンス。

◎ エッセイ

▽出てこい海のおバケたち (椎名 誠：新日本出版社)

屋根にのぼる子ども、水遊びする子ども…。子どもたちを中心に、途上国で仕事に打ち込むおじさんやおばさんの真剣な姿や、未開発の風景などを収めた写真集。『アサヒカメラ』連載を改題、加筆・再構成。

▽虎のたましい人魚の涙 (くどう れいん：講談社)

時が過ぎ、変わっていくもの、変わらないもの。さりげない日常の場面や心情を切り取る言葉が、読む人の心に響く。「わたしを空腹にしないほうがいい」「うたうおばけ」に続くエッセイ集。『群像』連載を単行本化。

▽湊かなえのことば結び (湊 かなえ：角川春樹事務所)

家族、友人、猫、淡路の美味しい食、旅の思い出など、湊かなえの愛するものや、リスナーとの温かな交流、小説講座、おすすめの本などが満載。著者がパーソナリティをつとめたFM大阪の番組をもとに書籍化。

▽といあえずお湯わかせ (柚木 麻子：NHK 出版)

はじめての育児、コロナ禍。閉じこもる中で徐々に気が付く、世の中の理不尽や分断。食と料理を通して、2018年から2022年を記録した、小説家・柚木麻子のエッセイ。『きょうの料理ビギナーズ』連載他を単行本化。

◎ 古典文学・文学史・作家論

▽無人島のふたり 120日以上生きなくちゃ日記 (山本 文緒：新潮社)

ある日突然がんと診断され、夫とふたり、無人島に流されてしまったかのような日々が始まった。58歳で余命宣告を受け、それでも最期まで書くことを手放さなかった作家の闘病記。

こどもの本

◎ 生活

▽知らなかった!おなかのなかの赤ちゃん図鑑 (WILL こども知育研究所：岩崎書店)

生命のはじまりから、受精、胎児の成長、出産までを、時系列でビジュアルと共に解説。おなかのなかで赤ちゃんがどのように育つのかを、Q&A やコラムも交えて丁寧に伝えます。

▽睡眠の大研究 しくみと役割をさぐろう (櫻井 武：PHP 研究所)

睡眠とは? なぜ眠くなる? 睡眠時、脳で何が起きている? よく眠るには? 睡眠の役割や、睡眠をつくるしくみ、睡眠と覚醒の関係、代表的な睡眠障害、よい睡眠をつくるくらし方などを、イラストを交えながら紹介する。

◎ 社会科

▽土の大研究 5億年の大地のなごをさぐろう (藤井 一至：PHP 研究所)

5億年かけてつくられた地球の土は、人類をはじめ陸上のすべての生物を養っている。土とはどういうもので、どのようにしてつくられるのか。地球の土を守るには。土のなごと危機にある現状をわかりやすく紹介する。

▽名列車透視図鑑 鉄道開業150年 (松島 浩一郎：小学館)

蒸気機関車、ブルートレイン、新幹線、超電導リニア…。日本を代表する車両の内部構造やしくみを、透視図を用いて解説する。子どもが学べ、大人も楽しめる本。名列車が見られる鉄道博物館・資料館も紹介。

▽屋根のうへのパトンリレー 日本でいちばん南にあるかやぶきの家 (横塚 眞己人：

ほるぷ出版) 沖縄県・西表島の小さな集落にある、日本最南端のかやぶき屋根の家。みんなに愛され、大切にされているその家には、とても重要な役割があって…。沖縄県の有形文化財に指定されている「新盛家」の修繕作業を写真で紹介する。

◎ 戦争・平和

▽チャンス はてしない戦争をのがれて (ユリ・シュルヴィッツ：小学館)

ユダヤ人の絵本作家ユリ・シュルヴィッツが第二次世界大戦にまきこまれたのは、4歳の頃だった。ナチスドイツ軍の攻撃のあと、ポーランドを脱出し、各地を転々とした時の生々しい体験を、豊富なイラストとともに描き出す。

◎ 理科・自然科学

▽知りたい!行ってみたい!なごとき絶景図鑑 (増田 明代：講談社)

クレーターレイク、鳴門の渦潮、バルセロナの街並み…。全世界85か所の絶景を写真99点で紹介し、なぜこんな絶景ができたのかをイラストも交えて解き明かす。「なぜこうなった?あの絶景のひみつ」に続く第2弾。

▽おいしい魚ずかん (上田 勝彦：金の星社)

私たちが食べる魚は、生きもので、限りある海の資源。将来も安心して食べ続けるためには、考えながら食べなくてはなりません。魚の生態・資源量・食べ方をイラストでわかりやすく紹介します。

◎ 日本の作品

▽ラベンダーとソプラノ (額賀 滯：岩崎書店)

「今年こそ金賞を」の重圧と厳しい練習で崩壊寸前の合唱クラブ。そんなとき小6の真子は、ボーイソプラノの朔や商店街の合唱団と出会い、頑張ることの意味やクラブのあり方を考えはじめ…。

▽黒と白のあいだで 翔の四季 秋 (斉藤 洋：講談社)

世界は見えたままでも、きこえたままでもない。翔は、近所で起きた不審火や学校でのレアカード盗難事件を通して、「正しさ」を考えることに…。もの思う少年・翔をとりまく1年間を描いた「翔の四季」シリーズ。

▽雨の日は好きな人 (佐藤 まどか：講談社)

おかあさんが再婚し、小6の七海に新しいおとうさんと新しいおねえちゃんができた。しかしおかあさんたちは、ずっと入院しているおねえちゃんを心配し、七海をほったらかしにして…。複雑な家庭の中で揺れる少女の心を描く。

◎ 芸術・芸能

▽作って発見!西洋の美術 ゴッホも!ピカソも!ダ・ヴィンチも! (音 ゆみ子：東京美術)

楽しく「工作」することで美術を「鑑賞」する感性も養う小学生向け実用書。ピカソやゴッホ等への高い評価の根拠となる技法やアイデアに着目し、それを元にした工作を紹介。作ることで得られる美術鑑賞の視点を提供する。

◎ 動物たちが活躍

▽三まいのはがき (おくやま ゆか：福音館書店)

3枚のはがきを受けとったゆうた。それは、ナメヨ、ガマコ、ニョロミからの招待状でした。ゆうたは3人の家に行き、楽しく過ごしますが、帰ろうとすると、3人がゆうたを取り合って、けんかをはじめて…。

◎ ホラー・怪談・こわい話

▽おばけとしよかん 2 花子さんをさがせ (斉藤 洋：講談社)

ぼくの町のとしよかんは、昼間は普通のとしよかんだけど、夜、遅くなるとおばけとしよかんになる。ある日の夕方、としよかんから「本を返しにきて」と電話があって…。童話シリーズ「おばけとしよかん」の第2弾。

◎ 季節・行事の物語

▽スノーマン クリスマスのお話 (マイケル・モーパーゴ：評論社)

レイモンド・ブリッグズの絵本「スノーマン」が物語に! イギリスを代表する児童文学作家マイケル・モーパーゴが、少年とスノーマンのすばらしい夜の冒険を、やさしく、あたたかく描く。完璧なスノーマンのつくり方も紹介。

◎ 童話集

▽こどもに聞かせる一日一話 「母の友」特選童話集 (福音館書店「母の友」編集部：福音館書店) あひるのぼうし、ぐりとぐらのピクニック、首かざりと金のたまごなど、子どもと一緒に楽しめる、短くておもしろい童話30話を紹介しします。生活文化雑誌『母の友』掲載を書籍化。

◎ 日本の絵本

▽ちいさいおねえちゃん (えがしら みちこ：岩崎書店)



とっこちゃんはママが大好き。でも弟のたいちゃんが生まれてから、ママはずっとたいちゃんのお世話をしています。とっこちゃんが赤ちゃん返りをするようになったある日、ママが「ふたりでおでかけしない?」と言って…。

▽橋の上で (酒井 駒子：河出書房新社)



学校帰り、ぼくは橋の上で川の水を見ていた。いまここから川にとびこんだらどうなるだろうって考えながら。そこに雪柄のセーターのおじさんがあらわれ、ふしぎなことを教えてくれて…。

▽へんしんロボット (あきやま ただし：金の星社)



ここは、へんしんロボットけんきゅうじょ。ロボットにへんしんしたいひとやどうぶつなどがいろいろやってきて…。声に出して繰り返し読んでみるといろいろなものが変身しちゃう、不思議な言葉あそび絵本。

▽ぼくとお山と羊のセーター (飯野 和好：偕成社)



山間のたった3軒だけの集落で育った著者の少年時代を描いた絵本。自給自足の生活の中で、育てた羊の毛で作ってもらうセーターを心待ちに過ごした1年を、四季のめぐりとともに描く。

▽ひみつのえんそく (武田 美穂：童心社)



まちにまった遠足なのに、熱を出してしまったそうたは、たぬきたちといっしょに、やまのゆうえんちへ、ひみつのえんそくに行くことに…。さあ、どんな冒険がまっているのでしょうか?

▽おすしがふくをかいにきた (田中 達也：白泉社)



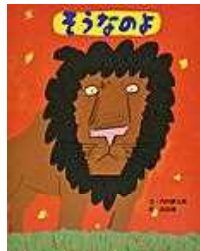
おすしが服を買いにお店にやってきた。数あるすしネタから、何に変身するのかな? アイスクリームやいちごたちも、愉快なお買い物を楽しみ…。身近なものを本物そっくりの何かに見立てる、楽しい写真絵本。

▽さよならぼくたちのようちえんほいくえん (みやにし たつや：金の星社)



たくさんのおもいでがつまった、ぼくたちのようちえん、ほいくえん、さよなら。さくらははなびらふるころは、ランドセルのいちねんせい。新沢としひこ・作詞、島筒英夫・作曲の卒園の歌の歌詞をもとに絵本化。

▽そうなのよ (高島 純：絵本館)



によきによきによき。カバは頭から木がはえてきた。「な、なんで?」カバが驚いて木にきくと、「なんとなく」と木はこたえた。するとカバは…。ナンセンスの力で、頭の中をやわらかくほぐす絵本。

▽だじゃれむかしむかし (長谷川 義史：理論社)



おばさまのみみはそばとせみ、キャッツとまめの木、へんなやつとぐれてるやつ…。古今東西の昔話のタイトルで、登場人物たちがだじゃれ競演。見開きごとにだじゃれを楽しめます。

▽くまの子ウーフのたからもの (広瀬 弦：ポプラ社)



どんぐりころりんすつとんとん、もひとつころりんすつとんとん。あきの山で、きょうもウーフはなにかを見つけ…。誕生から 50 年以上愛され続ける「くまの子ウーフ」の原点となるお話です。

▽クリスマスのおとしもの (えがしら みちこ：講談社)



あれれ? おとしものがあるよ。あおいバケツ、きいろい輪っか、ちやいろの木の実、あかい帽子…。いったい、だれのおとしものかな? ころろがあたたかくなる、クリスマスのお話。

▽にだんべっど (五十嵐 大介：あかね書房)



にだんべっど、お兄ちゃんが上の段で、わたしは下の段。そこでおしゃべりしていたら。それぞれの段で眠りにつく直前にかわす会話をきっかけに、夜の街、ジャングル、難破船と、夢のかけらのような冒険がはじまり…。

▽ゆきのげきじょう (荒井 良二：小学館)



スキーをはいて1人、出かけた男の子。とうさんのだいじな本をやぶいてしまったことを考えていた男の子は、くぼみがあるのを忘れて、落ちてしまいました。するとそこに、あかりのついたちいさな劇場を見つけ…。

◎ 外国の絵本

▽おまえたち、くっちゃんぞ〜! わにがめのアルとちいさなさかなたち (ジョン・ヘア：岩崎書店)



わにがめのアルは、池の底で大きな口をあけ、ミミズのような舌をゆらゆらさせて、さかなをおびきよせようとしています。たくさんさかなが集まってくるが…。わにがめアルのおもしろいお話。

▽あずきがゆばあさんととら (ペク ヒナ：偕成社)



昔、深い山奥にあずきがゆばあさんが住んでいた。ばあさんの煮るあずきがゆは、とってもおいしい。ある日、あずきの畑で草取りをするばあさんのところへ、でっかいとらがあらわれ…。韓国の小学校の教科書にのっている昔話。

▽わらってよピッコ (ルイス・スロボドキン：福音館書店)



公園で、カートに子どもをのせてさんぼするポニーのピッコは、なぜかいつもかなしそう。アルフレッドとジーナの兄妹は、ピッコが楽しくなるよう、思いつくかぎりのことをためてみますが…。

▽よるのあいだに… みんなをささえるはたらく人たち (ハリエット・ホブデイ：BL出版)



わたしが寝ている夜も、みんなのためにがんばる人たちがいる。みんなの暮らしを支えているのは、どんな人たちなんだろう？ 夜間にはたらく人たちの仕事を、やさしい表現で描いた絵本。はたらく人へのインタビュー付き。

◎ ヤングアダルト

▽ひみつの犬 (岩瀬 成子：岩崎書店)

ひみつの犬をめぐる、奮闘する小学5年生の羽美と4年生の細田くん。これは事件？ それとも？ とりまく大人たちの間でさまざまな問題にぶつかる、羽美たちのゆれる心境をこまやかに描く。

開館時間

(4月～11月)

▽ 午前 9時～午後7時 (日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

(12月～3月)

▽ 午前10時～午後6時 (日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

休館日

▽毎週 火曜日

▽毎月 第3日曜日

▽毎月 月末整理日

(月末が火曜日等で休館の場合、その前日)

▽年未年始 (12月27日～1月4日)

▽蔵書点検日 (3月5日～11日)

▽年度末整理日 (3月31日)



里庄町立図書館キャラクター

里庄町イメージキャラクター

ふくちゃん

&

里ちゃん

里庄町立図書館ニュース
No. 355 2022.12.1
岡山県漢口郡里庄町里見2621
電話 0865-64-6016